

環境行動計画 - Environmental Action Plan -

「第8期環境行動計画」（2016～2018年度）では、全ての指標を達成することができました。

「第9期」（2019～2020年度）では、SDGsの項目を追加するなど、さらにチャレンジングな指標を設定し、取り組んでいきます。

第8期環境行動計画（2016～2018年度）

カテゴリー	目的	指標	結果	判定
社会への貢献	ICTの提供により、社会の持続可能な発展に貢献する。 環境貢献ソリューションを2016年度から2018年度末までに14件以上開発し、「社会の持続可能な開発目標（SDGs）」に貢献する。	14件以上	20件	達成
	製品のライフサイクルにおける環境価値の向上（エネルギー効率） 2016年度から2018年度に開発する新製品の50%以上をエネルギー効率トップレベルにする。	50%以上	50% （※1）	達成
	製品のライフサイクルにおける環境価値の向上（資源効率） 2016年度から2018年度に開発する新製品の資源効率を15%以上向上する。	15%以上	89% （※2）	達成
自らの事業活動	事業拠点の温室効果ガス排出量を削減する。 事業所における温室効果ガス排出量を2018年度末までに2013年度実績以下に抑制する。	5,368トン-CO ₂ 以下	4,941トン-CO ₂	達成
	廃棄物発生量を2012～2014年度の平均以下に抑制する。 廃棄物発生量を2018年度末まで2012年度～2014年度の平均比20%以上削減する。	235トン以下	182トン	達成
独自設定テーマ	気候変動対策や生物多様性保全に係る良き企業市民としての活動 社員が社会とともに取り組む、社会貢献活動を支援する。	52件以上	69件	達成

※1：対象8製品中4製品がエネルギー効率トップレベル。

※2：対象5製品において向上した資源効率の平均値。

第9期環境行動計画（2019～2020年度）

カテゴリー	目的	指標
気候変動	事業拠点のGHG排出量の削減 事業拠点の温室効果ガス（GHG）排出量を2020年度末までに2013年度比で8%以上削減する。	7,236トン-CO ₂ 以下 （※3）
資源循環	製品の省資源化・資源循環性向上の推進 新製品の資源効率を2020年度末までに2014年度比で20%以上向上させる。	20%以上
	廃棄物発生量の削減 廃棄物発生量を2020年度末までに2012～2014年度平均の27%以上削減する。	301トン以下 （※3）
サプライチェーン	製品の使用時消費電力によるCO₂排出量の削減 製品の使用時消費電力によるCO ₂ 排出量を2020年度末までに2013年度比14%以上削減する。	14%以上
SDGs	ICTサービスを通じたSDGsの達成への貢献 ICTビジネスを通じてSDGsの達成に貢献する。	33件以上 （※4）
独自設定テーマ	気候変動対策や生物多様性保全に係る良き企業市民としての活動 社員が社会とともに取り組む、社会貢献活動を支援する。	61件以上

※3：2019年度より熊谷SSCを対象拠点として追加したため、第8期の指標よりも増加。

※4：①SDGsに関する理解の向上、②お客様とのコミュニケーション、③ソリューションのSDGs事例化、発信 計3テーマのアクションアイテムの総数。